"たいせつ"がギュッと。
Hanshin Group

NEWS RELEASE

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO.,LTD.
〒553-8553
大阪市福島区海老江1丁目1番24号
https://www.hanshin.co.jp/

2025 年 2 月 28 日

阪神甲子園球場

SAFFAIRE SKY ENERGY

阪神甲子園球場の廃食用油を国産 SAF 製造の原料として供給します

～CO_2 排出削減で、気候変動対策へ貢献～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市、社長：久須勇介（以下、阪神））と合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（本社：横浜市、代表者：秋鹿正敬（以下、SAFFAIRE SKY ENERGY））は、阪神が運営する阪神甲子園球場（西宮市）における使用済み食用油（以下、廃食用油）を、国産の持続可能な航空燃料 SAF（Sustainable Aviation Fuel（以下、SAF））製造の原料として供給することで、資源を有効活用し、気候変動対策への貢献を目指すとともに、循環型社会の実現のために相互に協力する基本合意書を 2025 年 2 月 28 日付で締結しました。これは、阪神が 2021 年から開始した環境保全プロジェクト「KOSHIEN “eco” Challenge」の一環として行うものです。

基本合意書を締結し、かつ、廃食用油を SAF 製造に供給する具体的な取り組みは、プロ野球の本拠地球場では初の試みとなります。

詳細は、以下のとおりです。

1　概要

阪神は、阪神甲子園球場で使用した廃食用油を、SAFFAIRE SKY ENERGY が計画する SAF 製造装置用に引き渡します。大阪府堺市に建設された日本初となる国産 SAF の大規模生産プラントにおいて、引き取った廃食用油を原料として SAF の製造を行います。SAFFAIRE SKY ENERGY からの供給開始については、2025 年 4 月頃を目指します。

なお、阪神が今年 3 月に開業する日鉄鋼板 SGL スタジアム尼崎（尼崎市）においても、同様の取組みを実施する予定です。

2　供給開始時期

2025 年 3 月 1 日

「KOSHIEN“eco”Challenge」について

阪神甲子園球場は、「阪急阪神ホールディングスグループサステナビリティ宣言」において定めた 6 つの重要テーマのうちの 1 つである「環境保全の推進」に取り組むため、環境保全プロジェクト「KOSHIEN“eco”Challenge」を 2021 年 12 月 9 日に宣言しました。同プロジェクトにおいて「廃棄物発生の抑止及びリサイクルの推進」を掲げており、プラカップをはじめとしたリサイクル製品の用途拡大に取り組み、「環境にやさしい球場」を目指しています。

使用済み食用油を航空燃料に

＜合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY＞

国内初となる国産 SAF の大規模生産を目指し、日揮ホールディングス・コスモ石油・レボインターナショナルの 3 社が合同で 2022 年 11 月に設立。昨年末、大阪府堺市のコスモ石油堺製油所内にて SAF 製造装置が完工し、国内で発生する廃食用油のみを原料とした年間約 3 万キロリットルの SAF の供給を目指しています。今後、SAF のサプライチェーン構築に向けた事業開発を一層加速させるとともに、大阪・関西万博の開催によって世界からの関心がさらに高まる 2025 年 4 月頃から、国産 SAF の供給開始を予定しています。供給する SAF は、国際的な持続可能性認証である ISCC CORSIA 認証を取得しています。なお、本事業は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の採択※を受けた助成事業です。

※NEDO ホームページ：https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html

SAF 製造装置
（コスモ石油堺製油所構内）

SAF の原料となる廃食用油受け入れ施設
（コスモ石油堺製油所構内）

＜SAF とは＞

SAF（Sustainable Aviation Fuel）は、廃食用油などを原料とする航空燃料として、従来の航空燃料と比較し CO_2 排出量を大幅に削減することが可能なエネルギーです。航空機は自動車などと違い電気や水素などの燃料では代替しにくいことから、SAF の利用による CO_2 排出削減が世界で求められています。

日本では、国土交通省が 2030 年時点で国内航空会社による燃料使用量の 10％を SAF に置き換える目標を掲げており、さらに 2050 年には、カーボンニュートラルにすることを目指しています。その実現に向け、国産 SAF の原料である廃食用油の安定的な調達が課題となっています。一方で、SAF の原料である廃食用油は、年間およそ 10 万トンが海外に輸出されているといわれており、輸送により CO_2 が排出されるだけでなく、国産 SAF 製造のための貴重な原料流出につながっています。

阪神グループは、「**“たいせつ”がギュッと。**」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。

以　　上